



兵庫県立美術館
HYOGO PREFECTURAL MUSEUM OF ART

兵庫県立美術館
プレスリリース
2016年7月



色あせぬ

古代ローマの

ハリとツヤ

日本初公開！二千年前のだまし絵

迫力の立体展示で、

古代ローマへタイムスリップ！

門外不出の大壁画、初来日！

犬のシュンちゃんも来日！

日伊国交樹立 150 周年記念

世界遺産 ポンペイの壁画展

開催趣旨

光あふれる地中海に面し、古代より風光明媚の地として知られた南イタリアのポンペイ。西暦 79 年、街の北側にあるヴェスヴィオ火山の噴火により、悲劇的な終焉を迎えます。1748 年から発掘が始まり、古代都市の姿が徐々に明らかになりました。遺物の中でもとくに人々を驚かせたのは、色鮮やかな壁画の数々です。火山灰が乾燥剤に似た役割を果たしたことにより、奇跡的に保存されました。

本展では、世界遺産に指定されたポンペイとその近郊の遺跡から出土した壁画を、描かれた主題ごとに紹介します。住宅や公共建築など、さまざまな建造物を美しい絵画で飾り、人生を謳歌した古代ローマの豊かな暮らしを追体験できる機会となります。

本展のみどころ

日本初公開！2000 年前のだまし絵（1）

《赤い建築を描いた壁面装飾》はヴェスヴィオ火山周辺にあった別荘を飾っていたもの。盗掘者によって不法にスイスに持ち出されましたが、最近になってイタリアへ戻ってきました。独特な遠近法の生み出す夢想的な雰囲気と、2000 年以上の時間がたってもなお鮮烈な色彩は、観る者の目をとらえて離しません。



1. 《赤い建築を描いた壁面装飾》前 1 世紀後半 ポンペイ監督局
 © ARCHIVIO DELL'ARTE - Luciano Pedicini / fotografo

開催情報

会 期

2016 年 10 月 15 日（土）～ 12 月 25 日（日）62 日間

休館日

毎週月曜日

開館時間

午前 10 時～午後 6 時（金・土曜日は午後 8 時まで）、入場は閉館の 30 分前まで

会 場

兵庫県立美術館 企画展示室

主 催

兵庫県立美術館、MBS、毎日新聞社、神戸新聞社

後 援

外務省、文化庁、イタリア文化財・文化活動・観光省、イタリア大使館、イタリア文化会館、伊日財団、公益財団法人伊藤文化財団、兵庫県、兵庫県教育委員会、神戸市、神戸市教育委員会

協 賛

旭化成、大日本印刷、日本通運

協 力

アリタリアーイタリア航空、日本貨物航空

学術協力

ナポリ国立考古学博物館、ポンペイ監督局

特別協力

公益財団法人日本教育公務員弘済会兵庫支部

観覧料金

一般 1,500 (1,300) 円、ペアチケット 2,400 円、
 大学生 1,100 (900) 円、高校生・65 歳以上 750 (650) 円、
 中学生以下無料

※（ ）内は前売および 20 名以上の団体割引料金（高校生・65 歳以上は前売なし）。

※障がいのある方（65 歳以上を除く）は各当日料金の半額、その介護の方 1 名は無料。

※割引を受けられる方は、証明できるものをご持参のうえ、会期中に美術館窓口で入場券をお買い求めください。

※県美プレミアム展の観覧には別途観覧料金が必要です（本展とあわせて観覧される場合は割引あり）。

※主なチケット販売場所：チケットぴあ（Pコード 767-674）、ローソンチケット（Lコード 53951）、イープラス、CNプレイガイド、阪神プレイガイド、セブンイレブン、ローソン、ファミリーマート、ミニストップ、サークルKサンクスなどのコンビニエンスストアほか

※ペアチケットの取扱いは電子チケットのみ。

※前売券・ペアチケットの販売は 10 月 14 日（金）まで。

本展のみどころ



「カルミアーノ農園別荘、トリクリニウム」ポンペイ監督局
(森アーツセンターギャラリーでの展示風景)

迫力の立体展示で、古代ローマヘタイムスリップ！

別荘の一室を飾っていた壁画を、当時の室内を再現して展示します。中庭に面した大きな食堂で、寝そべりながらゆったりと食事をとり、ぶどう酒を飲み交わした古代ローマの豊かな生活に思いをはせてください。



2. 《赤ん坊のテレフォスを発見するヘラクレス》後1世紀後半
ナポリ国立考古学博物館
© ARCHIVIO DELL'ARTE - Luciano Pedicini / fotografo

門外不出の大壁画、初来日！（2）

ポンペイと同じく世界遺産に登録されたエルコラーノ。この街の「アウグステウム」から出土した神話画《赤ん坊のテレフォスを発見するヘラクレス》は、これまで1度しかイタリア国外へ出たことがなく、このたび日本初公開。重さが約500kgもある大壁画、美術ファンも考古学ファンも必見です。



3. 《犬のシュンクレトゥス》後1世紀 ナポリ国立考古学博物館
© ARCHIVIO DELL'ARTE - Luciano Pedicini / fotografo

犬のシュンちゃんも来日！（3）

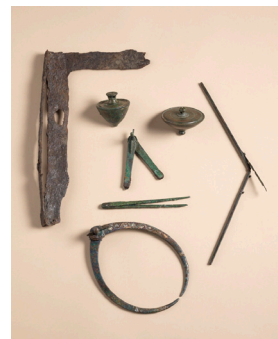
壁画のテーマは多岐にわたります。画中に記された文字「シュンクレトゥス」は飼い犬の名前とみられます。このような愛らしい動物もまた、ポンペイ壁画を見る楽しみのひとつ。動物画だけでなく、静物画も風景画も、この時代からすでに描かれていました。

展覧会構成

第Ⅰ章

建築と風景 29点

壁画の様式は、描かれた時代ごとに、大きく4つに分類されます。宮殿の壁面に見られる大理石を模した第1様式。遠近法を生かして壁の向こうに広がる空間を描く第2様式は、建築の様式とも呼ばれます。第3様式では装飾は平面的となり、第1～第3様式の要素が混在する第4様式がそれに続きました。ここでは幻想的な建築物や風景を描いた壁画を取り上げ、制作に使われた道具や顔料もあわせて展示します。

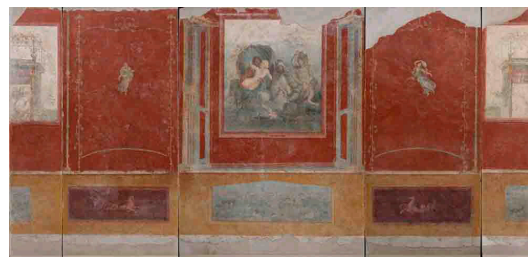


道具類 後1世紀 ナポリ国立考古学博物館
© ARCHIVIO DELL'ARTE - Luciano Pedicini / fotografo

第Ⅱ章

日常生活 25点

古代ローマ時代の住居には、家（ドムス）と別荘（ウィラ）の二種類があります。街中のドムスの壁面は、植物や小動物のモチーフで飾られました。また郊外のウィラは、美しい自然の中にありました。ぶどう酒の生産拠点だった「カルミアーノ農園別荘」の食堂を再現したコーナーでは、自然の恵みに感謝し、宴をひらいた人々の生活がよみがえります。

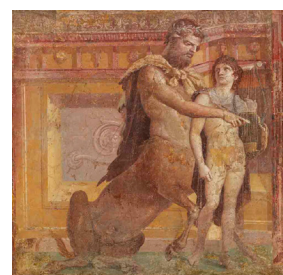


4. 《カルミアーノ農園別荘、トリクリニウム》後62-79年
ポンペイ監督局
© ARCHIVIO DELL'ARTE - Luciano Pedicini / fotografo

第Ⅲ章

神話 15点

ギリシャ文化に憧れた人々は、神話にもとづく壁画で邸宅を飾りました。自らの好むギリシャ神話のエピソードをどのように組み合わせ、配置するか、工夫を凝らしたのです。神話を主題にした作品の中でも、皇帝崇拝の場とみられる公共建築「アウグステウム」を彩った壁画は、個人の邸宅から出土したものとは異なり、当代最高水準の質を誇ります。

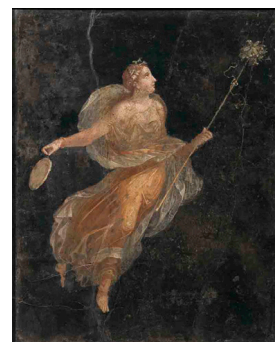


《ケイロンによるアキレウスの教育》後1世紀後半
ナポリ国立考古学博物館
© ARCHIVIO DELL'ARTE - Luciano Pedicini / fotografo

第Ⅳ章

神々と信仰 10点

ポンペイの位置するカンパニア地方はぶどう酒の産地であり、酒神ディオニュソスが植物の生育を司る神として信仰の対象となっていました。またローマ帝国の領土拡大とともに、外来の神々たとえばエジプトのイシス神なども描かれるようになりました。古代ローマの世界にはさまざまな神があふれていたのです。神々やその従者が登場する壁画を通して、当時の多様な信仰のあり方を考えます。



5. 《踊るマイナス》後1世紀後半 ナポリ国立考古学博物館
© ARCHIVIO DELL'ARTE - Luciano Pedicini / fotografo

出品総数 79点

関連イベント

「ポンペイの魅力」

10月30日〔日〕午後2時から（約90分）

講師：青柳正規氏（東京大学名誉教授）

ミュージアムホール（定員250名）

聴講無料（要観覧券、当日午前11時からホワイエで整理券を配布します）

ヤマザキマリ×とり・みき『プリニウス』スペシャル・トーク

ポンペイ終焉の時代に活躍した博物学者が主人公の大ヒット漫画『プリニウス』を描いているお二人を招いてのスペシャル・トーク！

10月16日〔日〕午後2時から（約90分）

講師：ヤマザキマリ氏、とり・みき氏（漫画家）

ギャラリー（ギャラリー棟3階）聴講無料（要観覧券、当日午前11時からホワイエで整理券を配布します）

学芸員による解説会

11月26日〔土〕、12月17日〔土〕

いずれも午後4時から（約45分）

レクチャールーム（定員100名）聴講無料

おやこ解説会

12月10日〔土〕午後1時30分から（約30分）

レクチャールーム 要事前申込・参加無料

お問い合わせ：こどものイベント係 Tel：078-262-0908

ミュージアム・ボランティアによる解説会

会期中の毎週日曜日午前11時から（約15分）

レクチャールーム（定員100名）聴講無料

記念コンサート～イタリアへの誘い

11月26日〔土〕午後2時から エントランスホール

無料

共催：兵庫県立美術館アートフュージョン実行委員会

ジャンルーカ・ディ・マッテオさんによる人形劇

12月3日〔土〕午前11時から アトリエ1

無料

共催：イタリア文化会館-大阪

イタリアの絵本の読み聞かせ

11月19日〔土〕午後1時30分から（約30分）場所は未定

無料

共催：イタリア文化会館-大阪

広報用画像について

このプレスリリースに掲載されている画像データをプレス掲載用にご用意しております。
別紙の申込書をご使用ください。

お問い合わせ先

兵庫県立美術館

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1

TEL: 078-262-0901（代表） FAX: 078-262-0903

取材・写真提供に関すること

営業・広報グループ

TEL: 078-262-0905（グループ直通） FAX: 078-262-0903

展示内容に関すること

担当学芸員：鈴木慈子、岡本弘毅

e-mail: suzuki@artm.pref.hyogo.jp

TEL: 078-262-0909（学芸直通） FAX: 078-262-0913

同時開催の展覧会

イタリア風景写真展（仮）

10月15日〔土〕～12月25日〔日〕

共催：イタリア文化会館-大阪

イタリア観光の情報コーナーも併設します

注目作家紹介プログラム チャンネル7

高橋耕平展「街の仮縫い、個と歩み」

10月15日〔土〕～11月20日〔日〕

県美プレミアム

〈小企画〉美術の中のかたち一手で見る造形

つなぐ×つむ×つかむ：無視覚鑑賞の極意

〈特集〉時間をひらく―新収蔵品を中心に

7月2日〔土〕～11月6日〔日〕

〈小企画〉ハナヤ勘兵衛の時代デェ!!（仮称）

〈特集〉彫刻大集合（仮称）

11月19日〔土〕～2017年3月19日〔日〕

横尾忠則現代美術館 TEL. 078-855-5607

ヨコオ・マニアリズム vol.1

8月6日〔土〕～11月27日〔日〕

ようこそ！横尾温泉郷

12月17日〔土〕～2017年3月26日〔日〕

交通案内

阪神岩屋駅（兵庫県立美術館前）から南に徒歩約8分

JR神戸線灘駅から南に徒歩約10分

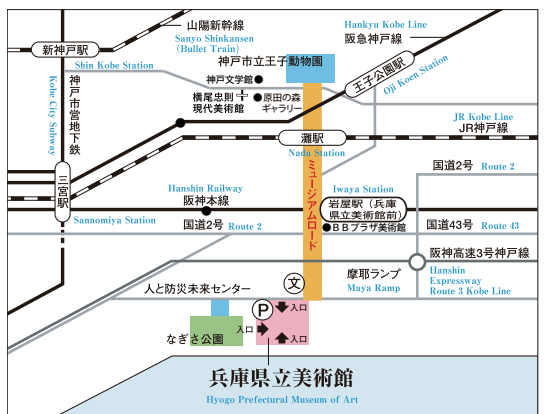
阪急神戸線王子公園駅から南西に徒歩約20分

神戸市バス・阪神バス「県立美術館前」下車すぐ

地下駐車場：乗用車80台収容・有料

※ご来館はなるべく電車・バスをご利用ください

※団体バスでお越しの場合は、バス待機所の予約をお願いします



広報画像申込書

兵庫県立美術館

日伊国交樹立 150 周年記念 世界遺産 ポンペイの壁画展

2016 年 10 月 15 日（土）～12 月 25 日（日）

営業・広報グループ 宛 FAX (078) 262-0903

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-1-1 電話 (078) 262-0905 (直通)

ご希望の画像の番号に○をつけてください。後日データ（.jpg）をお送りいたします。

番号	作家名・作品名・制作年 など
1	《赤い建築を描いた壁面装飾》前 1 世紀後半 ポンペイ 監督局 ○ ARCHIVIO DELL' ARTE - Luciano Pedicini / fotografo
2	《赤ん坊のテレフォスを発見するヘラクレス》後 1 世紀後半 ナポリ 国立考古学博物館 ○ ARCHIVIO DELL' ARTE - Luciano Pedicini / fotografo
3	《犬のシュンクレトゥス》後 1 世紀 ナポリ 国立考古学博物館 ○ ARCHIVIO DELL' ARTE - Luciano Pedicini / fotografo
4	《カルミアーノ農園別荘、トリクリニウム》後 62-79 年 ポンペイ 監督局 ○ ARCHIVIO DELL' ARTE - Luciano Pedicini / fotografo
5	《踊るマイナス》後 1 世紀後半 ナポリ 国立考古学博物館 ○ ARCHIVIO DELL' ARTE - Luciano Pedicini / fotografo

※上記作品画像を媒体掲載される際には、記載の**作家名・作品名・制作年**などを必ず入れてください。

※作品画像は**全図で使用**してください。トリミングや文字を重ねるなど画像の加工・改変はできません。

※画像データ使用は、本展覧会の紹介用のみとさせていただきます。それ以外での使用はできません。（会期終了まで）

※再放送、転載など二次使用をされる場合には、別途申請いただきますようお願いいたします。

※Web サイトに掲載する場合は必ずコピーガードを施してください。

※基本情報、図版使用の確認のため、ゲラ刷り・原稿の段階で営業・広報グループまでお送り願います。

貴社名			
媒体名	新聞・雑誌・ミニコミ 『 』 TV・ラジオ・インターネット		
ご担当者名			
ご住所	〒		
電話番号		FAX	
メールアドレス	@		
URL			
掲載・放送予定日		画像到着 希望日	
読者・視聴者プレゼント用招待券（最大 5 組 10 名まで 本展を媒体でご紹介いただける場合に限りです）	組 名分希望		

※本展に関する記事をご掲載いただきました際には、お手数ですが、**掲載誌・紙または記録媒体（VTR/DVD）、URL**などを、上記営業・広報宛にお送りくださいますようお願いいたします。

※展覧会場の取材、撮影をご希望の場合は、上記までご連絡ください。事前にご連絡のない取材・撮影はお断りいたします。